

在来水生生物保全池（屋外飼育施設）は、主に岐阜市内のニホンイシガメとカスミサンショウウオを保全するために、その保護増殖と調査研究、さらには普及啓発を行うことを目的として作られた場所です。

2010年夏から始めた岐阜大学地区でのカメ調査で、大学周辺は要注意外来生物のミシシippアカミミガメ（ミドリガメ）に占拠され、在来のニホンイシガメは絶滅寸前だということがわかってきました。一方で、岐阜高校が、2006年から絶滅危惧種のカスミサンショウウオ（岐阜市条例指定貴重野生動物種）の保全活動に本格的に取り組んでいます。このように、身近にいたはずのニホンイシガメやカスミサンショウウオが危機的な状況にあることが分かり、両種を保全して、さらに研究を行ったり、現状を伝えたりする場を作りたいと考え、昨年から少しずつ学生や教員の手で、工事業者さんの協力も得ながら工事を進めてきました。

この保全池での活動は、岐阜高校や岐阜県世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふ、岐阜市役所自然共生部自然環境課などのご協力とご指導をいただきながら進めていきます。活動の概要は、随時、応用生物科学部生産環境科学課程応用動物科学コースのHPで紹介しています。保全池が完成するまでの様子も紹介しています。

池の管理人Kより

現在の飼育動物

ニホンイシガメ
（日本固有種）



クサガメ



ミシシippアカミミガメ
（環境省・要注意外来生物）



カスミサンショウウオ
（岐阜市条例・貴重野生動物種）



国立大学法人岐阜大学 応用生物科学部
生産環境科学課程 応用動物科学コース

国立大学法人 岐阜大学
>>サイトマップ >>アクセス

応用動物科学コースって? 授業科目・資格 アルバム コース教員 研究室 進路・就職 関係機関

在来水生生物保全池

ニホンイシガメとカスミサンショウウオの保全と研究を行うための人工池です。
公開セミナー開催！詳しくは [ポスター](#) を。

岐阜県は豊かな自然に恵まれ、また岐阜市内にもまだまだ緑豊かな自然環境が多く残されています。岐阜市内には、多くの希少な爬虫類・両生類が生息していますが、やはり環境の悪化や外来種の生息域拡大は他地域と同様に深刻な問題となっています。このような環境の変化に伴い、岐阜地域でも絶滅の危機に瀕している在来種は少なくありません。応用生物科学部では、構内の一面に小さな人工池（在来水生生物保全池、約200㎡）を造成し、岐阜高校・岐阜県水族館・岐阜市などと協働して岐阜市内の希少な在来水生生物（主に、ニホンイシガメとカスミサンショウウオ）の域外保全を図ると共に、その屋外飼育個体の生物学的研究や野生個体の調査をそれぞれの専門家と協力して進める予定です。

在来水生生物保全池

検索

<http://www1.gifu-u.ac.jp/~zoology/contents/hcc/hcc.html>



